

# エチオピアの開発と工業化

## 日本の視点から

2015年4月

鈴木 量博(かずひろ)

駐エチオピア特命全権大使

兼アフリカ連合(AU)日本国常駐代表

# アディスアベバのいま現在



## 主要経済指標（その1）

### アフリカ第1位

実質経済成長率

(9.4%)

過去5年（2009年-2013年）平均

他国との比較（モロッコ：3.7%，エジプト3.0%，  
ナイジェリア7.0%，タンザニア6.7%）

※出典：国連アフリカ経済委員会（UNECA）

# 主要経済指標（その2）

## メディア・シンクタンクの報告：その1

\* TIME誌(2014年8月13日号) \*

**Forget the BRICS, meet the PINE (Eはエチオピア)**

\* A.T.カーニー(2014年 Global Cities Index and Emerging Cities Outlook) \*

**今後10～20年で台頭が予想される新興都市：  
1位ジャカルタ, 2位マニラ, 3位アディスアベバ(エチオピア)**

(注: 以下の指標等に基づき算出: 2008～2013年間のGDP, インフラ, 治安・政治的安定性, ヘルスケア, 所得格差, 環境保全, 新規ビジネス数, 信用状取得の容易さ)

# 主要経済指標（その2）

## メディア・シンクタンクの報告：その2

### \*Wall Street Journal紙: Frontier Markets Sentiment INDEX(2014年6月)\*

欧米多国籍企業関心TOP20の内アフリカ11ヶ国：1位ナイジェリア，2位アルゼンチン，3位ベトナム，4位サウジアラビア，5位ケニア，6位アンゴラ，7位カザフスタン，8位イラク，9位ガーナ，10位ベネズエラ，**11位エチオピア**，12位モロッコ，13位タンザニア，14位アルジェリア，15位パキスタン，16位コートジボワール，17位クウェート，18位ザンビア，19位ウガンダ，20位ルーマニア

### \*Washington Post紙(2014年8月6日特集記事)\*

米アフリカ・リーダーズ・サミット関連記事で、米企業の投資に熟した4主要市場として、  
ガーナ：アフリカの新有力油田，モザンビーク：世界3位の天然ガス生産，  
**エチオピア：東アフリカのパワー市場**，ナイジェリア：アフリカ最大経済を特記。

## 主要経済指標（その3）

**人口: 9,173万人** (出典: 2013年世銀)  
→ 2017~18年頃に**1億人突破**の予測  
**人口増加率: 2.61%**

### 初等教育が全国に普及

#### \* 小学校教育

出席率	68.0%(2004年)	→ 85.7%(2012/13年)
卒業率	48.0%(2008/09年)	→ 52.8%(2012/13年)

出典: 2014年African Economic Outlook (アフリカ開発銀行, OECD, UNDP共著)

(注) エチオピアの現在の経済・人口成長率が維持されれば、**22-23年後に現在の南アフリカ共和国とほぼ同規模のGNIに**。その際には**人口約1億5千万人**で人口規模は現在の南アフリカ共和国の約3倍に到達する見込み。

# 進出コスト

## 平均労働賃金

例1:  
80~90 米ドル/月

例2:  
約 70 米ドル/月  
(昼食, 通勤バス, 医療施設を無償提供)

## 電気料金

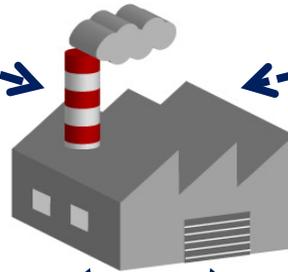
約 2.7 米セント/キロワット

## インセンティブ

5 年間の免税措置  
(輸入関税及び法人税)

## 工場賃料

1 米ドル/m<sup>2</sup>  
(ボレ・レミ工業団地)

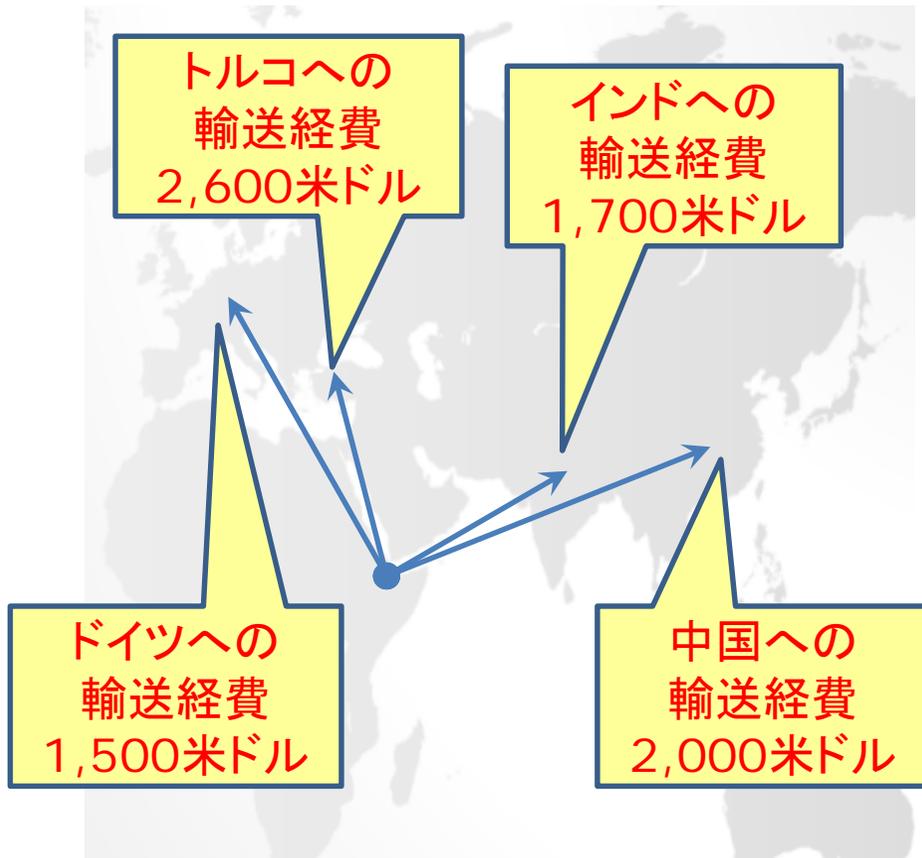


# 今後のシナリオ

	一人当たり 国民所得 (世銀, 2013年)	エチオピアが、以下の一人当たり国民所得成長率を維持した場合、 下記中・高所得経済に追いつくには、何年かかるのか。				
		10.0%	8.0%	6.0%	4.0%	2.0%
マレーシア	10,400米ドル	31.8年	39.4年	52.1年	77.4年	153.3年
タイ	5,370米ドル	24.9年	30.8年	40.7年	60.5年	119.9年
インドネシア	3,580米ドル	20.7年	25.6年	33.8年	50.2年	99.4年
ベトナム	1,730米ドル	13.0年	16.1年	21.3年	31.6年	62.7年
インド	1,570米ドル	12.0年	14.9年	19.6年	29.2年	57.8年
中所得国への 境界	1,036米ドル	7.6年	9.5年	12.5年	18.6年	36.8年
エチオピア	500米ドル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

# 輸送コスト

## (1) ジブチからの輸送経費



上記は、40フィート・コンテナ1個あたりの輸送経費

## (2) アディスアベバからジブチへの輸送経費



### ジブチ港での関税

40フィート・コンテナ1個あたり, 1,100米ドル

## (3)国内平均輸送経費

20フィートのトラック貨物車にかかる費用  
(出典: 世銀調査, 単位は米ドル):

エチオピア(2,650), 韓国(575)、  
タンザニア(1,700), 中国(500)

# その他の投資環境

## \* Doing Business Indicators \*

189ヶ国中、ベトナム99位、インドネシア120位、エチオピア125位、ケニア129位、  
ウガンダ132位、インド134位、タンザニア145位  
(出典: 2014年世銀Doing Business Report)

## \* 良好な治安 \*

世界で15番目に安全な国。アフリカで1番治安の良い国  
(1位 日本・・ 14位 ノルウェー、15位 エチオピア、16位 カタール)  
(出典: African Globe. net)

## \* 公平な所得分配 \*

ジニ係数: エチオピア **0.298 (2011/12年)**  
都市部 **0.37 (2010/11年)**  
比較: 日本 0.381 (2002年), 米国 0.45 (2007年), フランス 0.28 (2005年),  
フィリピン 0.458 (2006年), 香港 0.533 (2007年)  
(出典: "CIA - The World Factbook")

## \* 良好な気候 \*

アディスアベバは、一年を通じ、東京の春／秋頃の気温(15~25°C)で過ごしやすい。  
アフリカに多いマラリア蚊は都市部にはいない

## \* 良好な居住環境 \*

邦人が快適に生活できるアパート(80㎡2LDK程度)は約2,000米ドル／月程度

# 外国企業(軽工業)の投資状況

## トルコ

### AYKA社: 衣料品製造

原料から製品パッケージまで一貫処理  
従業員7,500人規模, 近い将来17,000人へ拡大予定  
製品全てをドイツへ輸出

## 台湾

### ジョージシュー社: 靴製造

空港南側のボレ・レミ工業団地で2014年5月開始。  
現在は800人規模で将来は3,000~7,000人規模の工場に。  
OEM生産で全て欧米市場向け(一流ブランドに販売)

## イギリス

### ピッタール社: ゴルフ用手袋

(その他, ユニリーバが  
fabric-cleaning soaps生産開始予定)

## インド

### SVP社: アフリカ最大の綿糸工場

(5.5億米ドルの投資)を計画 (建設計画発表)  
100ha, 正規雇用3,000人, 非常勤雇用10,000人,  
280トン/日の綿糸生産

## 中国

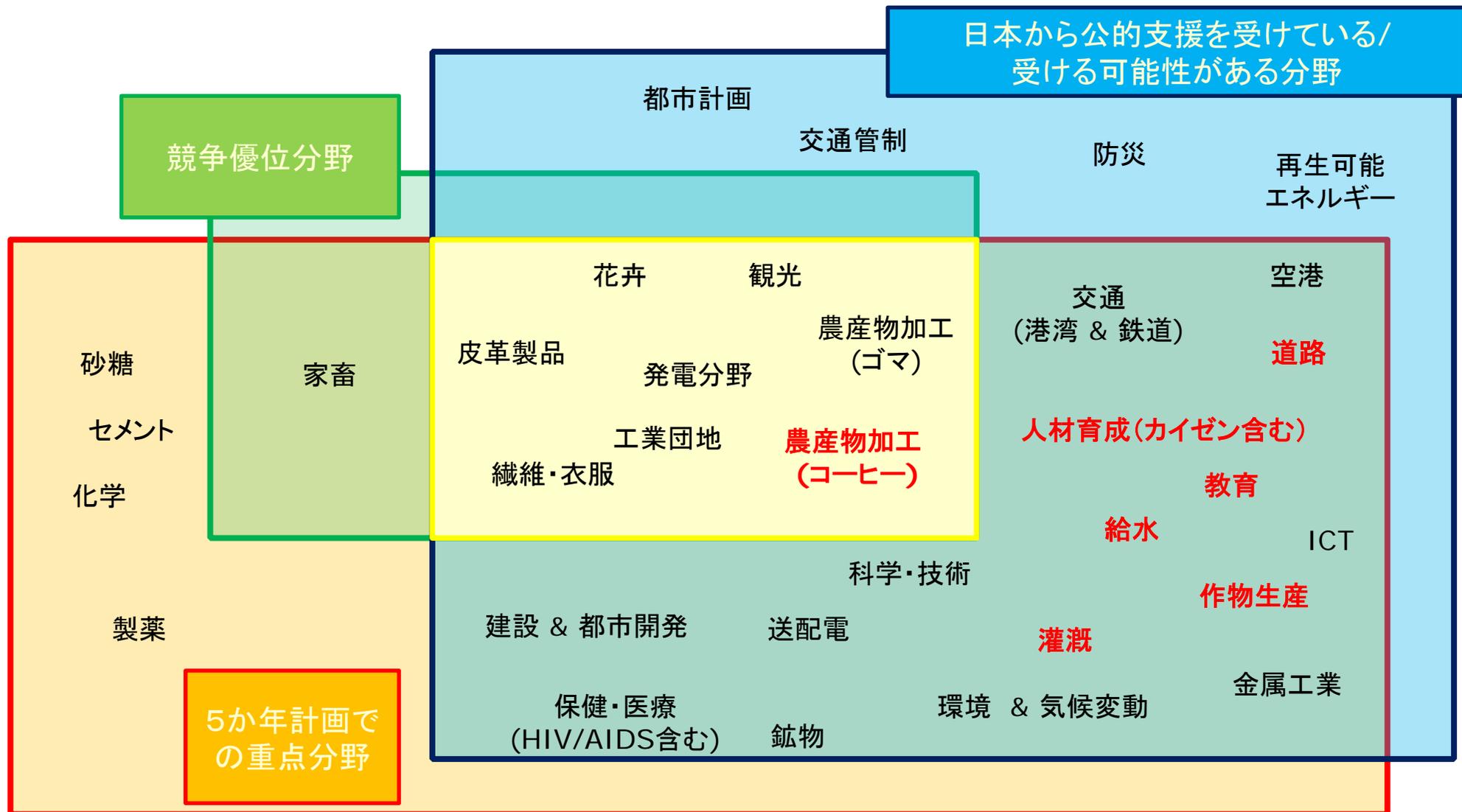
### Huajian: 靴製造

従業員1,500人規模 製品全てを米国へ輸出

Zhejiang Jinda Flax Llc: アジス郊外にKingdom  
Linen繊維工業団地開設

アジス郊外の広大な東方工業団地では,  
力帆自動車(アセンブリー工場), 鉄鋼業等の工場も存在

# エチオピアの投資先として有望な分野



(注) 赤字: 日本からの公的支援を受けている分野